

1 地域計画策定の背景と目的

全国的に人口減少、少子高齢化が進む中、高田地区も例外でなく、人口減少が進んでいます。高齢化率も同様に高くなってきており、地域に昔から伝わる獅子踊りや権現様の伝承なども厳しい状況となってきています。

しかしながら、平成29年には、多方面からの惜しみない協力もあり、高田ねぶた運行を復活できたところです。今後も、こうした伝統文化の継承を図っていくとともに、我々が長年暮らしてきた地区を、これからも住みよい豊かな街として持続・発展させていくために、各町会や団体などと連携・協働し、地域の個性を生かした魅力あるまちづくりを進めていきたいと考えます。

この計画は、高田地区に住む人々が、主体性をもって暮らすための取り組みの指針であり、地域のことを地域で考えて決定し、実行していくためのものです。



地域計画の概要

■期間
令和5年度から令和9年度までの5年間

■区域
南部1区連合町会区域
(高田、太陽台、小館、野沢、入内、向野沢、大柳辺)

■主体
高田地区まちづくり協議会(平成30年4月1日設立)

■策定方法
住民参加型共同作業方式(ワークショップ方式)で集約された意見をもとに協議会でまとめたもの。

2 地域の特徴

伝統芸能：高田獅子踊り
伝統文化：年縄奉納、権現様、
自然：御鈴大滝(入内)、野沢の里山
城跡：高田城、高田蝦夷館、小館
名所：追分の一本松、学問の発祥の地、
下湯ダム
遺跡：小牧野遺跡

3 地域の課題

- (1) 地域コミュニティの場が少ない
- (2) 豊かな自然や遺跡を活用したまちづくりが必要
- (3) 伝統芸能や地域に伝わる文化の後継者不足

地域の課題を解決し、地域の特徴を生かすためには？

どんな地域を目指すのか？

地域の宝で紡ぐ、地域の絆

4 地域で取り組むこと、取り組みたいこと

- (1) 高田ねぶたで地域の絆を育む ⇒ **すぐに取り組む**
 - ① 地域ねぶた運行を継続していく
 - ② 昔ながらのろうそくねぶた、担ぎねぶたでの運行を行う
 - ③ 題材・制作・運行と、地域の住民で作上げる「ねぶた運行」を目指す
 - ④ ねぶたから地域内で情報を伝達する体制を構築し、まちづくりに活かす
- (2) 高田獅子踊りの伝承 ⇒ **すぐに取り組む**
 - ① まち回りの実施
 - ② 高田獅子踊りシンポジウムの開催
 - ③ **後継者の育成**
- (3) 小牧野遺跡を活用したまちづくり ⇒ **概ね3年以内に取り組み**
 - ① **小牧野館を活用しコミュニティの場とする**
- (4) 地域に伝わる伝統を大切にしよう ⇒ **すぐに取り組む**
 - ① 学問の発祥の地(寺子屋)のPR
 - ② 地元に伝わる歴史や伝統を後世に残す
 - ③ 年縄奉納等の伝統文化を後世に伝えられるよう活動を支援
- (5) 高田地区に住む人を増やす ⇒ **今後事業内容を検討していく**
 - ① 空き家を活用した移住・定住の促進
- (6) その他 ⇒ **概ね3年以内に取り組み**
 - ① 地域の団体(婦人会、老人クラブ、地区社協、消防団)と連携していく
 - ② 若い人と高齢者が交流できるようなコミュニティの場をつくる
 - ③ 豊かな自然環境を生かした事業を行う

